

邦楽・長唄三味線の演奏とワークショップ 【無料】

2019年11月16日土曜日 午後2時～4時

昭和ボストン レインボーホール

420 Pond St., Boston, MA 02130

ようこそ、日本伝統音楽の世界へ。長唄・吉住会は、江戸期の初代「吉住小三郎」出自に始まり、1919年に単独の演奏会を初演してから今年で100周年を迎えました。また本会を母体とするNPO三味線音楽普及の会は、創設20年になります。この節目に長唄界の巨匠がボストンを訪問し、伝統芸能のワークショップをお届けいたします。

- ・長唄三味線演奏の披露
- ・三味線音楽を中心に邦楽から日本伝統文化芸術にわたるお話し
- ・実技、参加者による三味線体験

出演者



吉住小三代（よしずみ こさよ）

三味線演奏の第一人者。長唄の巨匠たる指導者。

55代続く能楽・梅若家に出生し、長唄・吉住流

6代目家元に嫁す。12歳で三味線をはじめ。

「美しく品位ある音」の重要性をもととして、

内外での公演に多数出演。

- ・NPO法人三味線音楽普及の会 理事長
- ・重要無形文化財「長唄」総合認定保持者 同組織主催者
- ・2018年度文化庁長官賞受賞



吉住小三郎（よしずみ こさぶろう）

1964年、長唄吉住流6代目家元の長男として

東京で生まれ、2008年に7代目家元を襲名。

流儀の特色「歌舞伎や舞踊等のビジュアルを

伴わない独立した音楽、鑑賞される長唄」を

継承。その原点となる「研精会」（1902年創

設以来656回公演）を軸に普及伝承を実践。

- ・NPO法人三味線音楽普及の会 副理事長
- ・重要無形文化財「長唄」総合認定保持者



吉住小里代（よしずみ こりよ） 幼少の頃より吉住小三代師に師事、

25歳で名取となり、演奏会に出演。長唄協会会員 NPO三味線音楽普及の会講師